

# ふるさと 資料紹介

= (45) =

こもんじょ  
古文書にみる

近世庶民のくらし⑬

## 通行証

キリスト教信者でないことを証明した「宗門人別改帳」というものがありました。これから名前を外された人は、公に認められた職に就けず、「無宿者」として捕らえられ

たり、関所を通してもらえなかつた時もありました。

一方、人別帳に載っている者は、旅行や参詣で他国に出る時に「往来一札」という通行証を与えられました。これを持つていると関所が自由に通過することができ、旅先で病気になる時は、看病が受けられ、死んだとき葬式も出してもらえました。(これは、現

在のパスポートと同じような機能さえもっていました)

天保年間、西脇村の長右衛門親子が善光寺参りに出かけ

ましたが、戸隠で長右衛門は病死してしまいました。子供

桐二郎は、庄屋の送り状と父の宗門一札を持って村から村

へとリレーされ、一六日かけて無事西脇村へ着くことができました。

今回は、次の方から貴重な

資料を寄贈いただきました。

ありがとございました。

(平成七年二月分)

○考古資料など 二点

(野村咲郎さん/太田町)

博物館建設のため各種の資料を収集しています。文化会館内文化課(☎011-008)まで情報をお寄せください。

往来一札

一尾列 竹腰山誠守様御知行所  
藤列寄附西脇村西首長左の妻海  
子任入内内四人今段依志預信別  
善光寺御寄附御知行所  
竹園御寄附相違寄通二名下御寄附  
任入内且形重一札直寄御寄附  
甚中沈而乃御寄附御寄附御寄附  
乃後月御寄附一札御寄附御寄附

天保元年

更右左  
の村長左  
張市

諸國竹園御

御寄附御寄附

御寄附御寄附

御寄附御寄附

御寄附御寄附